

内田正雄 うらた まさひと 蘭學者。天保九年江戸生れ、明治九年二月（一八三六—三七）一七六。謹成章、通稱恒次郎。安政四年長崎海軍傳習所（蘭學）に學び、築地の軍艦操練所教授方手傳出役となる。文久二年留學生取締役としてオランダ留學。歸朝後軍艦頭、明治元年學校取調御用掛、二年大學南校で蘭學を教授、また大學權大丞兼大學中博士に任じ、五年文部省出仕と翌年退き、爾後著述に専念。

譯書 『初蘭學制』（明治二年刊）（一）他、世界地理書『輿地誌略』は廣く讀まれた（亞細亞・歐羅巴ノ部七卷、明治二年一文部省、八卷以下私板。刪補版七卷、『官』版輿地誌略・六七歐羅巴洲『大井潤』一校、十年四月序）。

